

予防歯科のすすめ

Q メンテナンスは受けた方がいいの？

メリット1 虫歯・歯周病などのお口のトラブルを未然に防ぐ

治療が終了した後も、お口の中を放置しておくとも再び虫歯や歯周病が再発しかねません。そこで予防のための処置が必要になります。

最も重要な予防方法は歯みがきですが、自己流の磨き方だと、どうしても磨き残しができてしまい、プラークが蓄積される部分が出てきます。そこから新たな虫歯や歯周病が発生してしまいます。

そのため、ご自身による日々の歯みがきのみならず、歯科衛生士などのプロによる定期的なメンテナンス・予防（プロフェッショナル・ケア）が不可欠です。

メリット2 治療の痛み・費用を軽減できる

初期の虫歯は痛みがありませんし、歯周病も初期段階では、症状はほとんどありません。しかし、痛みが出たり歯が揺れ出すまで放置しておいてから治療をはじめると、治療に痛みを伴ったり、治療の期間が長くなったり、費用が余計にかかるようになります。定期的にメンテナンスを行い、初期の段階で虫歯や歯周病を発見し、早期に治療を行う方が、痛み・費用を軽減できるメリットがあります。

定期検診を継続されている方はお口がとってもきれいです。



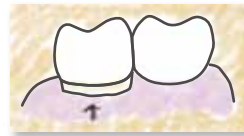
歯ブラシがあたりにくいところ



歯のカーブしているところ



詰め物の周囲



歯肉が下がって根の部分が露出しているところ



歯と歯肉の境など

健診で歯磨き確認を行うことにより、日常的なブラッシングテクニックが向上し、虫歯や歯周病のリスクが下がっていきます。



プラーク付着率が下がる毎にお口の中のスッキリ感を実感できます。



プラーク付着率
1つの歯を4つの面に分けどれくらいプラークが付着しているか算出(%)

Q どういうことをするのか？

1. お口の中の歯や歯肉の状態、詰め物がかけていないか、取れていないかなど、普段ご自身では気付かない虫歯や歯周病をチェックします。
2. 歯石の除去
3. 歯磨き確認

Q どのくらいの間隔で行えばいいの？

3～6ヶ月毎のメンテナンスが理想です。リスクの低い方は間隔を少しずつ長くしながら、ご負担が少なくなるように進めていきます。

Q 費用はどれくらいかかるの？

- ・保険診療の範囲内で行う場合は2、3回来院が必要となり、3割負担で約3,400円となります。(虫歯の治療がある場合を除く)
- ・保険外(自費)の場合は来院回数1回です。

クリーニング(全顎歯石除去).....4,500円
 クリーニングのみ(前回治療から2ヶ月以内).....2,500円
 歯石除去のみ.....2,500円

フッ素塗布(成人).....1,000円
 歯周病検査のみ.....2,000円

前回治療時に歯周ポケットが4mm以上あった方は保険診療内で歯周病検査を行うことをおすすめします。